

今年度も秋のキャンパスに5000名 第46回ホームカミングデー開催!

「年に一度は母校に帰ろう」を合言葉に開催している立教大学・立教大学校友会共催のホームカミングデー。第46回を迎えた10月26日は時折雨が降るあいにくの天候でしたが、5000名の校友が池袋キャンパスに集いました。ホームカミングデーは校友会専門委員会を中心とした「ホームカミングデー運営委員会」が企画・運営をしており、今年もお子さんから大人まで楽しめる企画を開催いたしました。

メインセレモニー

タツカーホールにて行なわれたメインセレモニーには約400名が参加、小笠原チャプレン長の司式のもと、厳かに行なわれました。また、校友会独立研究科奨学金、法務研究科奨学金の授与式も合わせて行なわれました。終了後、引き続きチャペル横の平和記念の碑にて「平和祈念の祈り」が行なわれました。

▶江津校友会長挨拶

大福引大会

毎年好評の大福引大会。今年も「等ハワイ旅行券を筆頭に、校友からの寄贈商品などをお目当てにたくさんの方々が参加され、1000枚用意された福引券は販売開始から50分で完売となりました。タツカーホールで行なわれた抽選会では当選番号が発表されるたびに会場は歓声とため息に包まれました。

公開トーク

服部幸應氏(昭46卒)「食育のすすめ」大切なものを失った日本人

校友で、服部栄養専門学校校長・食育研究家の服部幸應氏による公開トークが行なわれ、500名の会場は満席となりました。日本や世界の食糧事情などから始まり、食卓で子供を養うことが少なくなくなった今日の親子関係や日本の教育について、食育の観点からの指摘など、幅広い内容の講演をしていただきました。参加者の方々はメモをとりながら大変熱心に聞き入っていました。

オープンマーケット

大勢の方で賑わうオープンマーケット、今年は16団体に参加しました。なかには海外からロスアンゼルス立教会の出店もあり、販売された一足早いクリスマスグッズは好評のうちに完売しました。また、2008年4月に開講した



▶当日の様子

「立教セカンドステージ」も初出店。山梨県上野原村を研究するゼミナールによる名産品の販売や研究の様子をまとめたパネルを展示し、多くの人々を集めました。

学生リレーコンサート・キャンパスツアー

今年度は学生団体9団体がアトラクションとパフォーマンスを披露しました。また、キャンパスツアーには校友の方のみならず、ご家族連れでの参加も多く見られました。

ソフトボール大会

天候不順のため中止が続いたソフトボール大会、今年度は3年ぶりの開催となりました。優勝チームは「ホエールズ」。みなさんお

緑日広場

校友会オフインシャルグッズ販売、ヨーヨー釣り、輪投げ大会、ルーレットゴルフ大会など行なった緑日広場。校友会財務委員会の呼び込みが功を奏し、家族連れも多くの方で賑わいました。

特別企画

「かぐやの夢」と日本人、二つの「かぐや」の物語。トークセッション「月光条例」×「かぐや姫幻想」

8101教室にて開催した特別企画。第一部は立教大学が日本科学未来館(東京・台場)と共同制作した初の本格的映像作品を上映。日本の月周回衛星「かぐや」が撮影した驚きの月面映像と、「かぐや姫」のストーリーでつづるサイエンスファンタジー作品です。プロデューサー・構成・演出を手がけた現代心理学者・藤田和彦教授の解説のもと幻想的な世界に包まれました。

2008年度チャペル団体OBOG会開催される

2008年度「チャペル団体OBOGの集い」が、今回もホームカミングデーの10月26日(日)に開催されました。装い新たに開催された4回目ともなっており、各団体の活動に対する援助金として交付されました。

午後3時からは、慌ただしく後片付けを済ませた学生、会衆とOBOG出席のもと、礼拝が行われました。この礼拝の献金は、バザーの売上金とともに、各団体の活動に対する援助金として交付されました。

午後10時半、主日礼拝と並行して開始されたチャペル会衆主催のバザーでは、各学生団体が独自で出店したり会衆の売り場を手伝うなど、教会活動を学ぶ貴重な共同作業を体験をしました。

豪華客船ロイヤルウイングにて「第4回神奈川県校友の集い」開催!

去る11月9日(日)、豪華客船ロイヤルウイングを貸し切り「第4回神奈川県校友の集い」が開催されました。今回の「神奈川県校友の集い」は、2009年の横浜開港150周年に合わせた形で、2年ぶりの開催となりました。当日の天候はあいにくの雨模様、また11月という肌寒い時期でのナイトクルージングでしたが、校友、その家族や友人、大学関係者等、合わせて約430名の参加がありました。

神奈川県には現在、12の立教会があります。今回はその中の「町の立教会」と言われる横浜・よこはま青葉・川崎立教会が幹事となり、事前準備から当日の運営までを担当しました。当日は3つの幹事立教会を中心に皆さんのチームワークによって、400名を超す参加者をスムーズに船まで誘導してくれました。

参加者を岸壁に集め、華やかにライトアップされたロイヤルウイングのデッキから横浜立教会、校友会長、立教学院理事長のご挨拶、開会のお祈りを盛り込んだセレモニーを行いました。その後、船内では立教会ごとに各部屋に分かれ、それぞれ部屋を行き来する形での交流となりました。

▶船内の様子

午後3時からは、慌ただしく後片付けを済ませた学生、会衆とOBOG出席のもと、礼拝が行われました。この礼拝の献金は、バザーの売上金とともに、各団体の活動に対する援助金として交付されました。

船内では、ジャズ演奏やテールマジック、バルーンアートなどの余興も用意され、とても和やかな雰囲気の中で会がスタートしました。デッキに出てベイブリッジ

を始めとする横浜の夜景を楽しんだり、隣の部屋を覗いて久しぶりに再会した友人と話を弾ませたりと、思い思いの楽しみ方で船内は大変賑わっていました。そして、今回のメインイベントであるお楽しみ大抽選会では、幹事立教会である横浜立教会の方々ははじめ、多くの校友からの協賛により豪華景品が多数用意されました。校友会長・理事長もプレゼンターとして大抽選会に参加し、会場からは当選番号が呼ばれたたびに歓声が上がりました。

礼拝後チャプレンならびに学生代表からチャペル団体の現状が報告され、OBOGは熱心に聞き入っていました。チャペル脇のウイリアムズ主教前での茶話会では、海外から駆けつけた大先輩や多くのOBOGと現役との交流に花が咲きました。(チャペル事務局 記)



これまでの校友の集いとは趣を変え、船上での開催となった今回の「神奈川県校友の集い」、ひと味違った雰囲気の中のときを過ごしました。